

全日本アド連30年度・22回総会・研究集会 閉会あいさつ

皆さん、時間が瞬く間に過ぎて、この22大会も閉会の時を迎えました。

29年度運動の総括・事業報告・決算、並びに30年度運動方針・事業・予算計画、慎重にご議論いただき、可決頂きました事、誠に有難うございました。

どうか、文章が長い、などと云わないで、基本目標をシッカリ見据えながら、青少年を取り巻く背景、その中から生じている青少年問題を理解し、何故、そうなるのか、その原因を探り、どうすれば良いか、その解消方策を皆で力を合わせて創り出し、実行に移す。これが、我らのアド運動であります。

各委員会での具体的方策・事業を協議して頂きました。後は実践あるのみです。実践の為には、先ず自分を磨かなければなりません。仲間と切磋琢磨し、信頼を強め、団結して事に当たらなければ、力は発揮できません。

その為に、胸襟を開いて語り合う懇親会も致しました。お金では買えない貴重な仲間・希望・志・そして思い出を得ることができたものと確信しております。

先ずは、各地に帰り、この仙台・松島大会の内容を参加できなかった仲間に報告の機会を作って伝えて下さい。HPやアド連だよりも見て下さい。グループメールや様々なグッズも活用して下さい。

これから各地で入門講座が始まります。ここでもシッカリ全日本アド連の運動を伝えて下さい。私で良ければ、伺いますので、気軽に声を掛けて下さい。

10月には、テキストが完成する予定です。皆様の必見の書とすると共に、新しい仲間を誘ってください。来年2月には中央研修としての養成講座を、オリンピック記念青少年総合センターで開催します。是非、多くの参加をお願いします。

今年度で会長の任期が満了致しますが私も、この一年、精魂を込めて、育成運動・アド運動前進の為に全力を尽くしてまいる覚悟です。どうか、皆様のお力添え・ご支援・ご指導をお願いし、円滑に次期会長に引き継ぎますよう、ご協力をお願いして、閉会のご挨拶と致します。

有難うございました。気を付けてお帰り下さい。